

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

再公表特許 (A 1)

(11) 国際公開番号

W O O O / 1 3 0 9 0

発行日 平成13年11月13日 (2001. 11. 13)

(43) 国際公開日 平成12年 3 月 9 日 (2000. 3. 9)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I
G 0 6 F 13/00		G 0 6 F 13/00
		3/00
H 0 4 H 1/00		H 0 4 H 1/00
H 0 4 N 7/173		H 0 4 N 7/173
H 0 4 Q 3/02		H 0 4 Q 3/02
		審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 24 頁)

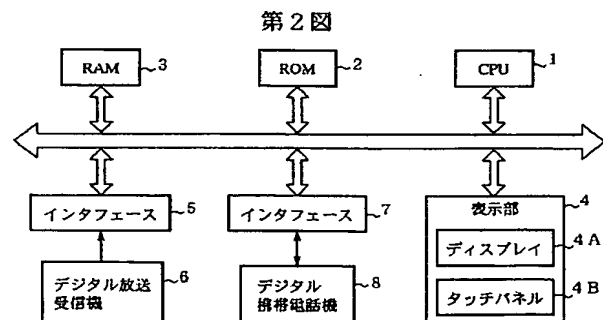
出願番号 特願2000-568011(P2000-568011)
 (21) 国際出願番号 PCT/J P 9 8 / 0 3 9 0 0
 (22) 国際出願日 平成10年 9 月 1 日 (1998. 9. 1)
 (81) 指定国 EP (A T, B E, C H, C Y, D E, D K, E S, F I, F R, G B, G R, I E, I T, L U, M C, N L, P T, S E), J P, U S

(71) 出願人 三菱電機株式会社
 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号
 (72) 発明者 伊藤 孝
 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号 三菱電機株式会社内
 (74) 代理人 弁理士 田澤 博昭 (外 1 名)

(54) 【発明の名称】 情報処理装置および情報処理方法

(57) 【要約】

先に取得した第 1 の情報に関連する第 2 の情報を取得するときにデジタル携帯電話機 8 の使用が困難であるか否かを予め検査し、デジタル携帯電話機 8 の使用が可能である場合にだけ、関連する第 2 の情報を送受信させるための操作の誘導を実行するようにして、意図的にデジタル携帯電話機 8 を使用しない場合にはユーザによる余計な操作を必要としないようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項１】 所定の第１の通信回線を介して、または所定の記録媒体から取得した第１の情報に対応するテキストまたは画像を所定の表示部に表示させる情報処理装置において、

所定の第２の通信回線を介して情報の送受信を行う送受信手段と、
前記送受信手段による情報の送受信が実行可能か否かを検知する検知手段と、
前記送受信手段による情報の送受信が実行可能である場合にだけ、前記送受信手段に前記情報を送受信させる操作の誘導を実行する誘導実行手段と、

前記操作に応じて、前記送受信手段を制御して、前記第２の通信回線を介して前記第１の情報に関連する第２の情報を取得する情報取得手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項２】 所定の第１の通信回線を介して、または所定の記録媒体から取得した第１の情報に対応するテキストまたは画像を所定の表示部に表示させる情報処理装置において、

所定の第２の通信回線を介して情報の送受信を行う送受信手段と、
前記送受信手段による情報の送受信が実行可能か否かを検知する検知手段と、
前記第１の情報に含まれる前記第１の情報に関連する第２の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像を前記所定の表示部に表示させる場合、前記送受信手段による情報の送受信が実行可能ではないときには、前記第２の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像を、所定の第１の様式で表示させ、前記送受信手段による情報の送受信が実行可能であるときには、前記第２の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像を、前記第１の様式とは異なる所定の第２の様式で表示させる表示制御手段と、

前記表示部に表示されたテキストまたは画像の一部を選択するときに操作される操作手段と、

前記操作手段を操作され、前記第２の様式で表示されたテキストまたは画像が選択された場合に、選択されたテキストまたは画像に対応する前記保存場所の情報に基づいて前記第２の情報を前記送受信手段を制御して取得する送受信制御手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項3】第1の通信回線としてのデジタル放送により配信された第1の情報を受信するデジタル放送受信手段を備え、

送受信手段は、第2の通信回線としてのデジタル携帯電話網を介して情報の送受信を行う

ことを特徴とする請求の範囲第2項記載の情報処理装置。

【請求項4】第1の情報および第2の情報は、HTML言語により記述され、

送受信手段による情報の送受信が実行可能である場合に第2の情報を表示させるときの所定の様式は、HTML言語によるリンクを使用した様式である

ことを特徴とする請求の範囲第2項記載の情報処理装置。

【請求項5】所定の第1の通信回線を介して、または所定の記録媒体から取得した第1の情報に対応するテキストまたは画像を所定の表示部に表示させる情報処理方法において、

所定の第2の通信回線を介して情報の送受信を行う送受信手段による情報の送受信が実行可能か否かを検知するステップと、

前記送受信手段による情報の送受信が実行可能である場合にだけ、前記送受信手段に前記情報を送受信させる操作の誘導を実行するステップと、

前記操作に応じて、前記送受信手段を制御して、前記第2の通信回線を介して前記第1の情報に関連する第2の情報を取得するステップと

を備えることを特徴とする情報処理方法。

【発明の詳細な説明】**技術分野**

この発明は、所定の通信回線を介して、または所定の記録媒体から取得した情報に対応するテキストまたは画像を所定の表示部に表示させる情報処理装置および情報処理方法に関するものである。

背景技術

第1図は例えば特開平10-98706号公報に記載された従来の情報処理装置を示すブロック図である。図において、101は、互いに局所通信リンク105を介して接続された1方向放送システムの受信装置102と双方向通信システムの端末装置104とで構成されるマルチメディア端末装置である。

マルチメディア端末装置101において、102は、その動作を制御するマイクロプロセッサ106と、半導体メモリなどの記憶装置107と、CRTなどの表示装置108と、通信網111としてのテレビジョン放送により配信されるMPEG形式やDAB形式のデータ112を受信する受信部109などで構成される受信装置である。なお、受信装置102の所定の記憶部には、マイクロプロセッサ106により処理されるアプリケーションプログラム110が記憶されている。なお、114は、アプリケーションプログラム110のもとで実行されるエージェントである。104は、通信網111としてのデジタル・セルラー通信網103のGSM電話網などの双方向通信システムの端末装置である。

次に動作について説明する。

受信装置102の受信部109は、配信されてきたデータ112を受信する。受信されたデータ112は、記憶装置107に記憶された後、マイクロプロセッサ106により、アプリケーションプログラム110に従って解析される。そして、そのデータに対応する情報が表示装置108に表示される。

そして、表示装置108により表示された情報を見たユーザが、その情報に関連する他の情報を取得しようとする場合には、端末装置104がユーザにより操作される。その操作に応じて、端末装置104は、通信網111としてのデジタル・セルラー通信網103を介して、関連する情報を取得する。取得された情報は、局所通信リンク105を介して受信装置102に供給され、表示装置108

に表示される。

このとき、マイクロプロセッサ106は、記憶装置107、端末装置104などの資源を検査し、所定の処理の実行に十分な資源を確保することが困難である場合には、その旨をユーザに対する警告として表示装置108に表示させる。

従来の情報処理装置および情報処理方法は以上のように構成されているので、上記関連する情報を取得するときに端末装置104の使用が困難である場合、警告が表示されるので、その警告の表示に対処する操作をユーザが実行する必要がある、さらに、意図的に端末装置104を使用しない場合にも警告表示に対する操作をしなければならず操作が煩雑になるなどの課題があった。

この発明は上記のような課題を解決するためになされたもので、上記関連する情報を取得するときに端末装置の使用が困難であるか否かを予め検査し、端末装置の使用が可能である場合にだけ、関連する情報を送受信させるための操作の誘導を実行するようにして、意図的に端末装置を使用しない場合にはユーザによる余計な操作を必要としないようにすることができる情報処理装置および情報処理方法を得ることを目的とする。

発明の開示

請求の範囲第1項記載の発明に係る情報処理装置によれば、所定の第2の通信回線を介して情報の送受信を行う送受信手段による情報の送受信が実行可能か否かを検知し、送受信手段による情報の送受信が実行可能である場合にだけ、送受信手段に情報を送受信させる操作の誘導を実行し、実行された操作に応じて、送受信手段を制御して、第2の通信回線を介して第1の情報に関連する第2の情報を取得する。このことによって、送受信手段が使用できない場合には、第2の情報を取得するための操作の誘導が実行されず、例えば、意図的に送受信手段を使用しない場合にはユーザによる余計な操作を必要としないようにすることができるという効果がある。

請求の範囲第2項記載の発明に係る情報処理装置によれば、所定の第2の通信回線を介して情報の送受信を行う送受信手段による情報の送受信が実行可能か否かを検知し、第1の情報に含まれる第1の情報に関連する第2の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像を所定の表示部に表示させる場合、送受信

手段による情報の送受信が実行可能ではないときには、第2の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像を所定の第1の様式で表示させ、送受信手段による情報の送受信が実行可能であるときには、第2の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像を第1の様式とは異なる所定の第2の様式で表示させ、第2の様式で表示されたテキストまたは画像が選択された場合に、選択されたテキストまたは画像に対応する保存場所の情報に基づいて第2の情報を送受信手段を制御して取得する。このことによって、送受信手段が使用できない場合には、第2の情報を取得するための操作の誘導表示が実行されず、例えば、意図的に送受信手段を使用しない場合にはユーザによる余計な操作を必要としないようにすることができるという効果がある。

請求の範囲第3項記載の発明に係る情報処理装置によれば、第1の通信回線としてのデジタル放送により配信された第1の情報を受信し、第2の通信回線としてのデジタル携帯電話網を介して情報の送受信を行う。このことによって、無線である通信回線を介して情報が取得されるので、本発明の装置を自動車に搭載することができるという効果がある。

請求の範囲第4項記載の発明に係る情報処理装置によれば、HTML言語により記述された第1の情報および第2の情報を処理し、送受信手段による情報の送受信が実行可能である場合にHTML言語によるリンクを使用した様式で第2の情報を表示させる。このことによって、既存のHTML言語による情報が処理可能であり、WWWに保有されている情報を享受することができるという効果がある。

請求の範囲第5項記載の発明に係る情報処理方法によれば、所定の第2の通信回線を介して情報の送受信を行う送受信手段による情報の送受信が実行可能か否かを検知し、送受信手段による情報の送受信が実行可能である場合にだけ、送受信手段に情報を送受信させる操作の誘導を実行し、実行された操作に応じて、送受信手段を制御して、第2の通信回線を介して第1の情報に関連する第2の情報を取得する。このことによって、送受信手段が使用できない場合には、第2の情報を取得するための操作の誘導表示が実行されず、例えば、意図的に送受信手段を使用しない場合にはユーザによる余計な操作を必要としないようにすることができる。

できるという効果がある。

発明を実施するための最良の形態

以下、この発明をより詳細に説明するために、この発明を実施するための最良の形態について、添付の図面に従って説明する。

実施の形態 1.

第2図は、この発明の実施の形態 1 による情報処理装置の構成を示すブロック図である。図において、1 は、ROM 2 に予め記憶されたプログラムに従って各種処理を実行する CPU (Central Processing Unit) (検知手段、誘導実行手段、情報取得手段、表示制御手段、送受信制御手段) であり、2 は、CPU 1 で処理されるプログラムやデータなどを予め記憶する ROM (Read Only Memory) であり、3 は、CPU 1 による処理の実行時にデータやプログラムを一時的に記憶する RAM (Random Access Memory) である。

4 は、CPU 1 より供給されるデータに対応した画像やテキストを表示するディスプレイ 4 A と、ディスプレイ 4 A 上に配置され、透明な部材で形成され、ペンなどの部材や指などで押圧された位置のデータを検出するタッチパネル 4 B (操作手段) とを備えた表示部である。

6 は、所定の方式のデジタル放送により配信されたデータを受信し、インタフェース 5 を介して CPU 1 に供給するデジタル放送受信機 (デジタル放送受信手段) であり、8 は、インタフェース 7 を介して CPU 1 に制御され、各種データの送受信を実行し、各種情報を取得するデジタル携帯電話機 (送受信手段) である。

この実施の形態 1 において、所定の方式のデジタル放送により配信されたデータおよびデジタル携帯電話機 8 により受信するデータは、HTML (Hyper Text Markup Language) 言語で記述されたものである。次に動作について説明する。

第3図は、実施の形態 1 による情報処理装置の動作を説明するフローチャートである。第4図は、所定の方式のデジタル放送により配信されたデータの一例を示す図である。第5図は、第4図に示すデータのうちのリンク部分を第1の様式

で表示した場合の表示画面の一例を示す図である。第6図は、第4図に示すデータのうちのリンク部分を第2の様式で表示した場合の表示画面の一例を示す図である。第7図は、デジタル携帯電話機を制御して取得したデータの一例を示す図である。第8図は、第7図に示すデータに対応するテキストを表示した表示画面の一例を示す図である。

まず、ステップST1において、デジタル放送受信機6は、所定の方式のデジタル放送により配信されたデータを受信し、インタフェース5を介してCPU1に供給する。ステップST2において、CPU1は、そのデータをRAM3に記憶させる。ここで、所定の方式のデジタル放送により配信されたデータは、HTML言語で記述されたものであり、例えば、第4図に示すテキストデータである。

次に、ステップST3において、CPU1は、いわゆるWWW (World Wide Web) ブラウザなどのように、HTML言語の仕様 (例えば、「HTML 3.2 Reference Specification REC-html32」(World Wide Web Consortium発行)) に基づいた変換プログラムに従って、受信したHTML言語で記述されたデータを、ディスプレイ4Aで表示可能な形式のデータに変換する。

例えば、第4図に示すデータのうち、〈center〉と〈/center〉との間のテキストは、画面の水平方向の中央に表示され、〈h3〉と〈/h3〉との間のテキストは、他の文字より大きい文字で表示される。

そして、ステップST4において、CPU1は、インタフェース7を介して、デジタル携帯電話機8が使用可能か否かを検査する。このとき、例えばCPU1は、インタフェース7を介して、デジタル携帯電話機8にリセット信号を送信し、所定の時間内にそのリセット信号に対応するリセット完了信号が送信されてきたか否かに基づいて、デジタル携帯電話機8への接続を検査する。さらに、CPU1は、デジタル携帯電話機8に、電波の送受信強度を報告させる制御信号を送信し、その信号に対応する応答信号に基づいて、デジタル携帯電話機8の状態を検査する。

ステップST5において、CPU1は、その検査の結果に基づいて、デジタル

携帯電話機 8 が使用可能であるか否かを判断し、デジタル携帯電話機 8 が使用可能ではないと判断した場合、ステップ S T 6 において、HTML 言語によるデータのうちのリンク部分に対応する表示データを、所定の第 1 の様式の表示データに変更した後に、その表示データに対応する画像やテキストを表示部 4 のディスプレイ 4 A に表示させる。

例えば、第 4 図のデータには、「``野球中継``」なるリンク部分と、「``ビール``」なるリンク部分が含まれている。「``野球中継``」なるリンク部分は、「`http://www.xxx.xxx/aaa/yakyuu.html`」なる URL に指定される WWW に保有されたデータを「野球中継」なるテキストに関連づけ、「``ビール``」なるリンク部分は、「`http://www.xxx.xxx/aaa/beer.html`」なる URL (Uniform Resource Locator) に指定される WWW に保有されたデータを「ビール」なるテキストに関連づけている。

また、例えば、第 4 図に示すデータが受信され、デジタル携帯電話機 8 が使用可能ではないと判断された場合、第 5 図に示すように、リンク部分が、第 1 の様式としての、破線のアンダーラインを付されたテキストとして表示される。

一方、デジタル携帯電話機 8 が使用可能であると判断した場合、ステップ S T 7 において、CPU 1 は、ステップ S T 3 で変換したデータに対応する画像やテキストを表示部 4 のディスプレイ 4 A に表示させる。すなわち、この場合には、受信したデータのうちのリンク部分が、所定の第 2 の様式で表示される。

例えば、第 4 図に示すデータが受信され、デジタル携帯電話機 8 が使用可能であると判断された場合、第 6 図に示すように、リンク部分が、第 2 の様式としての、実線のアンダーラインを付された太字のテキストとして表示される。

そして、ステップ S T 7 において表示された画像やテキストのうち、リンク部

分がユーザの操作により押圧されると、ステップS T 8において、ディスプレイ4 Aの表面に配置されたタッチパネル4 Bは、その押圧された位置を検出し、その位置のデータをC P U 1に供給する。

ステップS T 9において、C P U 1は、その位置のデータを受け取ると、その位置のデータに対応するディスプレイ4 Aにおける位置に表示されたリンク部分を選択されたと判断する。なお、リンク部分ではない部分が押圧された場合、C P U 1は、位置のデータが供給されたときに、その位置にリンク部分がないので、特に何もせずに、次に位置のデータが供給されるまで待機する。また、リンク部分が押圧された場合でも、デジタル携帯電話機8が使用可能ではない場合には、C P U 1は、特に何もせずに、次に位置のデータが供給されるまで待機する。

ステップS T 10において、C P U 1は、インタフェース7を介してデジタル携帯電話機8を制御して、H T T P (H y p e r T e x t T r a n s f e r P r o t o c o l) プロトコルに従って、W W Wにおいて、選択されたリンク部分に対応するU R L (U n i f o r m R e s o u r c e L o c a t o r) に保有されているデータを取得し、R A M 3に記憶させる。ここで、デジタル携帯電話機8を制御して取得されたデータは、H T M L 言語で記述されたものであり、「<a h r e f = " h t t p : / / w w w . x x x . x x x / a a a / y a k y u u . h t m l " > 野球中継 < / a > 」なるリンク部分に対応する表示部分が選択された場合には、例えば、第7図に示すテキストデータが取得される。

そして、ステップS T 11において、C P U 1は、取得したデータに対応する画像やテキストを表示部4のディスプレイ4 Aに表示させる。

例えば、第7図に示すデータが取得された場合、第8図に示すように、そのデータに対応するテキストが表示される。

以上のように、この実施の形態1によれば、デジタル携帯電話機8による情報の送受信が実行可能か否かを検知し、デジタル放送受信機6により受信された第1の情報に含まれる、第1の情報に関連する第2の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像をディスプレイ4 Aに表示させる場合、デジタル携帯電話機8による情報の送受信が実行可能ではないときには、第2の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像を、所定の第1の様式で表示させ、デジタ

ル携帯電話機 8 による情報の送受信が実行可能であるときには、第 2 の情報の保存場所の情報に対応するテキストまたは画像を、第 1 の様式とは異なる所定の第 2 の様式で表示させるようにし、第 2 の様式で表示されたテキストまたは画像が選択された場合に、選択されたテキストまたは画像に対応する保存場所の情報に基づいて第 2 の情報をデジタル携帯電話機 8 を制御して取得するようにしたので、デジタル携帯電話機 8 が使用できない場合には、第 2 の情報を取得するための操作の誘導表示が実行されず、例えば、意図的にデジタル携帯電話機 8 を使用しない場合にはユーザによる余計な操作を必要としないようにすることができるという効果が得られる。

したがって、例えば、実施の形態 1 の装置を自動車に搭載した場合には、運転者は、煩雑な操作をする必要が低減し、運転に集中することができる。

実施の形態 2.

第 9 図は、第 4 図に示すデータのうちのリンク部分を第 1 の様式で表示した場合の表示画面の他の一例を示す図である。第 10 図は、第 4 図に示すデータのうちのリンク部分を第 2 の様式で表示した場合の表示画面の他の一例を示す図である。

上記実施の形態 1 においては、第 4 図に示すデータが受信され、デジタル携帯電話機 8 が使用可能ではないと判断された場合、第 5 図に示すように、リンク部分が、第 1 の様式としての、破線のアンダーラインを付されたテキストとして表示され、デジタル携帯電話機 8 が使用可能であると判断された場合、第 6 図に示すように、リンク部分が、第 2 の様式としての、実線のアンダーラインを付された太字のテキストとして表示されるが、実施の形態 2 においては、デジタル携帯電話機 8 が使用可能ではないと判断された場合、第 9 図に示すように、リンク部分が、受信した画像データに対応する画像として表示され、デジタル携帯電話機 8 が使用可能であると判断された場合、第 10 図に示すように、リンク部分が、枠線を付された、受信した画像データに対応する画像として表示される。

以上のように、この実施の形態 2 によれば、デジタル携帯電話機 8 が使用可能であるか否かに応じて様式の異なる画像を表示するようにした場合にも、実施の形態 1 と同様の効果が得られる。

実施の形態 3.

上記実施の形態 1 においては、デジタル放送受信機 6 によりデータが受信されるが、実施の形態 3 においては、その代わりに、C D - R O M、半導体メモリなどの記録媒体よりデータが読み出される。そして、そのデータに対応する画像やテキストが表示部 4 のディスプレイ 4 A に表示される。

以上のように、この実施の形態 3 によれば、デジタル放送受信機 6 によりデータを受信する代わりに、C D - R O M などの記録媒体よりデータが読み出されるようにした場合にも実施の形態 1 と同様の効果が得られる。

実施の形態 4.

上記実施の形態 1 においては、表示部 4 のディスプレイ 4 A により情報をユーザに提示し、タッチパネル 4 B によりユーザの操作を検出しているが、実施の形態 4 においては、ディスプレイ 4 A の代わりに、テキストデータを音声データに変換し、その音声データに対応する音声をスピーカから出力する発声装置が設けられ、タッチパネル 4 B の代わりに、マイクロフォンで集音したユーザの音声を音声認識してテキストデータに変換する集音装置が設けられている。なお、テキストの発声や音声認識には、既に提案されている種々の方法と同様のものが使用される。

次に動作について説明する。

まず、デジタル放送受信機 6 により受信されたデータが R A M 3 に蓄積された後、C P U 1 により発声装置に出力され、そのデータのテキスト部分が発声される。

そして、デジタル携帯電話 8 が使用可能である場合にだけ、C P U 1 は、その発声の後に、そのデータに含まれているリンク部分の存在を示し、ユーザを誘導する音声を発声装置に発声させる。例えば、第 4 図に示すデータが受信された場合には、「表題、初期画面。この画面はサンプルですが、色々な情報を表示できます。今日は、野球中継がテレビで放送されます。ビールを飲みながら観戦してはどうですか。」という音声が発声装置によりユーザに対して発声される。そして、デジタル携帯電話機 8 が使用可能である場合には、その音声の後、リンク部分に対応して、「ここで、野球中継とビールに関連する情報があります。必要で

すか。」という音声が増加される。

そこで、ユーザが応答として「野球中継」と発声すると、その音声が集音装置により集音され、音声認識によりその音声に対応するテキストがCPU1に供給され、CPU1は、供給されたテキストにより「野球中継」のリンクが選択されたと判断し、デジタル携帯電話機8を制御して、そのリンクに対応するURLが示すWWW上の場所からデータを取得する。

そして、CPU1は、取得したデータを発声装置に供給し、そのデータのテキスト部分に対応する音声を発声させる。例えば、第7図に示すデータが取得された場合には、「表題、野球中継。今日の6時からご覧のTVチャンネルで、野球中継を放送します。是非、ご観戦ください。」という音声が発声装置によりユーザに対して発声される。

以上のように、この実施の形態4によれば、実施の形態1による効果の他、ユーザが音声で情報を取得するとともに、音声で操作を実行するようにしたので、実施の形態4の装置を自動車に搭載した場合には、運転者は、手による煩雑な操作をする必要が低減し、運転に集中することができるという効果が得られる。

実施の形態5.

上記実施の形態1においては、最初にデジタル放送受信機6により受信されたデータに対応する画像やテキストを表示するようにしているが、実施の形態5においては、デジタル放送受信機6を使用せずに、デジタル携帯電話機8が使用可能なときに、デジタル携帯電話機8を制御して最初のデータを取得するようにする。この場合、デジタル携帯電話機8により取得されたデータはRAM3に記憶され、後で、適宜読み出され、そのデータに対応する画像やテキストが表示される。

以上のように、この実施の形態5によれば、情報の取得をデジタル携帯電話機8だけで実行する場合にも、実施の形態1と同様の効果が得られる。

実施の形態6.

上記実施の形態1においては、リンク部分に対応するテキストを、デジタル携帯電話機8が使用可能である場合には実線のアンダーラインを付した太字で表示し、デジタル携帯電話機8が使用可能ではない場合には破線のアンダーラインを

付した文字で表示するようにしているが、実施の形態6においては、デジタル携帯電話機8が使用可能である場合、リンク部分に対応するテキストを、青い文字（他のテキストが黒い文字で表示される場合）、倍角文字、およびアンダーラインを付した青い文字のいずれかで表示するか、縁取りを施して表示し、デジタル携帯電話機8が使用可能ではない場合、リンク部分に対応するテキストを、黒い文字（他のテキストが黒い文字で表示される場合）、破線のアンダーラインを付した文字、イタリック体の文字、および濃い青の文字のいずれかで表示するようにする。

以上のように、この実施の形態6によれば、実施の形態1による効果の他、ディスプレイ4Aの種類に応じてユーザによる視認されやすい様式を選択することができるという効果が得られる。

産業上の利用可能性

以上のように、先に取得した第1の情報に関連する第2の情報を取得するときにデジタル携帯電話機8の使用が困難であるか否かを予め検査し、デジタル携帯電話機8の使用が可能である場合にだけ、関連する第2の情報を送受信させるための操作の誘導を実行するようにしたので、意図的にデジタル携帯電話機8を使用しない場合にはユーザによる余計な操作を必要としないようにすることができる情報処理装置および情報処理方法を得ることができ、例えば、自動車の運転などの作業の合間を縫って情報を取得するのに適している。

【図面の簡単な説明】

第1図は、従来の情報処理装置を示すブロック図である。

第2図は、この発明の実施の形態1による情報処理装置の構成を示すブロック図である。

第3図は、この発明の実施の形態1による情報処理装置の動作を説明するフローチャートである。

第4図は、所定の方式のデジタル放送により配信されたデータの一例を示す図である。

第5図は、第4図に示すデータのうちのリンク部分を第1の様式で表示した場合の表示画面の一例を示す図である。

第6図は、第4図に示すデータのうちのリンク部分を第2の様式で表示した場合の表示画面の一例を示す図である。

第7図は、デジタル携帯電話機を制御して取得したデータの一例を示す図である。

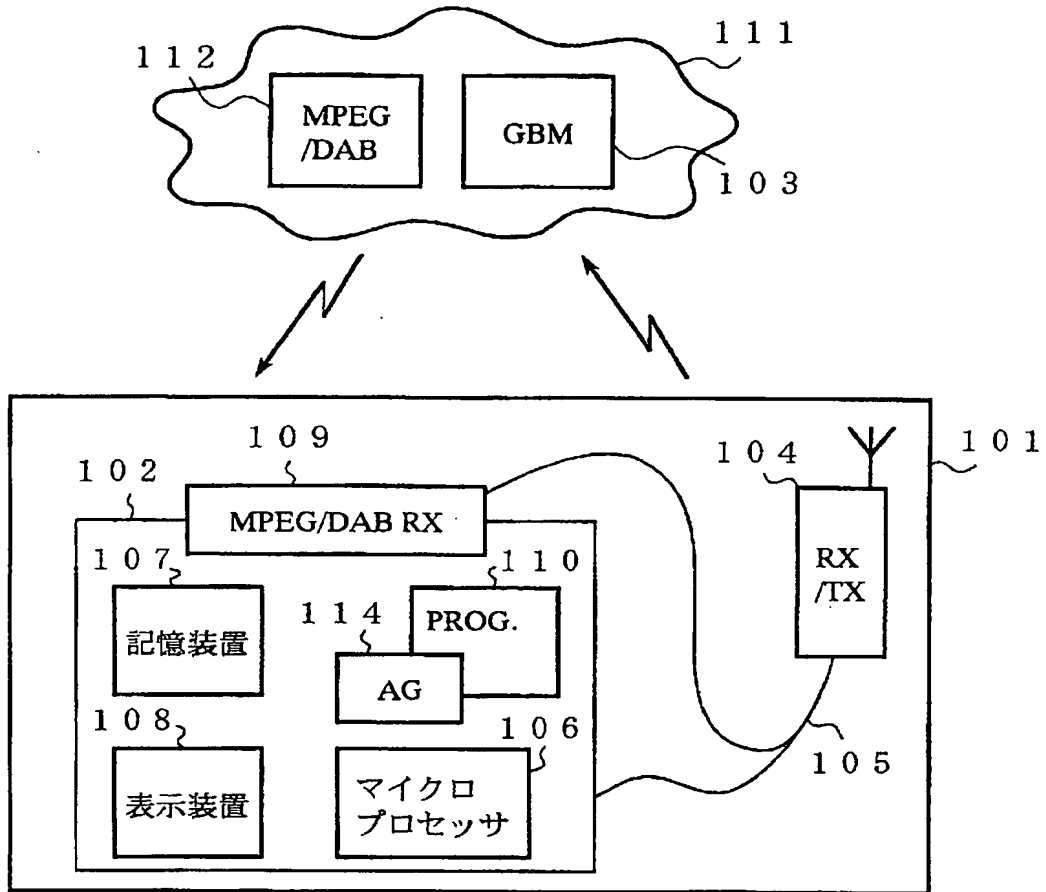
第8図は、第7図に示すデータに対応するテキストを表示した表示画面の一例を示す図である。

第9図は、第4図に示すデータのうちのリンク部分を第1の様式で表示した場合の表示画面の他の一例を示す図である。

第10図は、第4図に示すデータのうちのリンク部分を第2の様式で表示した場合の表示画面の他の一例を示す図である。

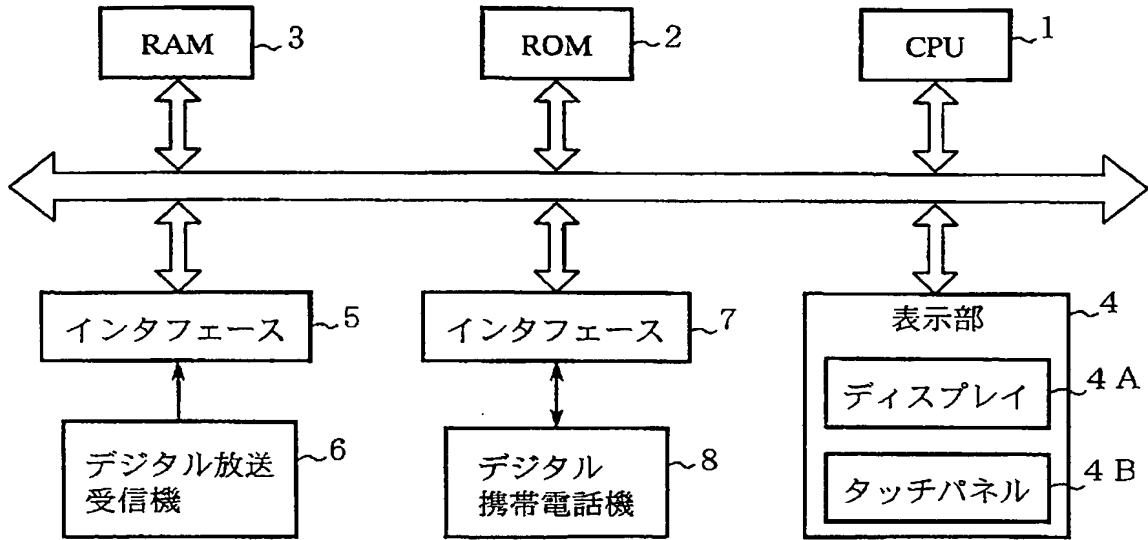
【図1】

第1図



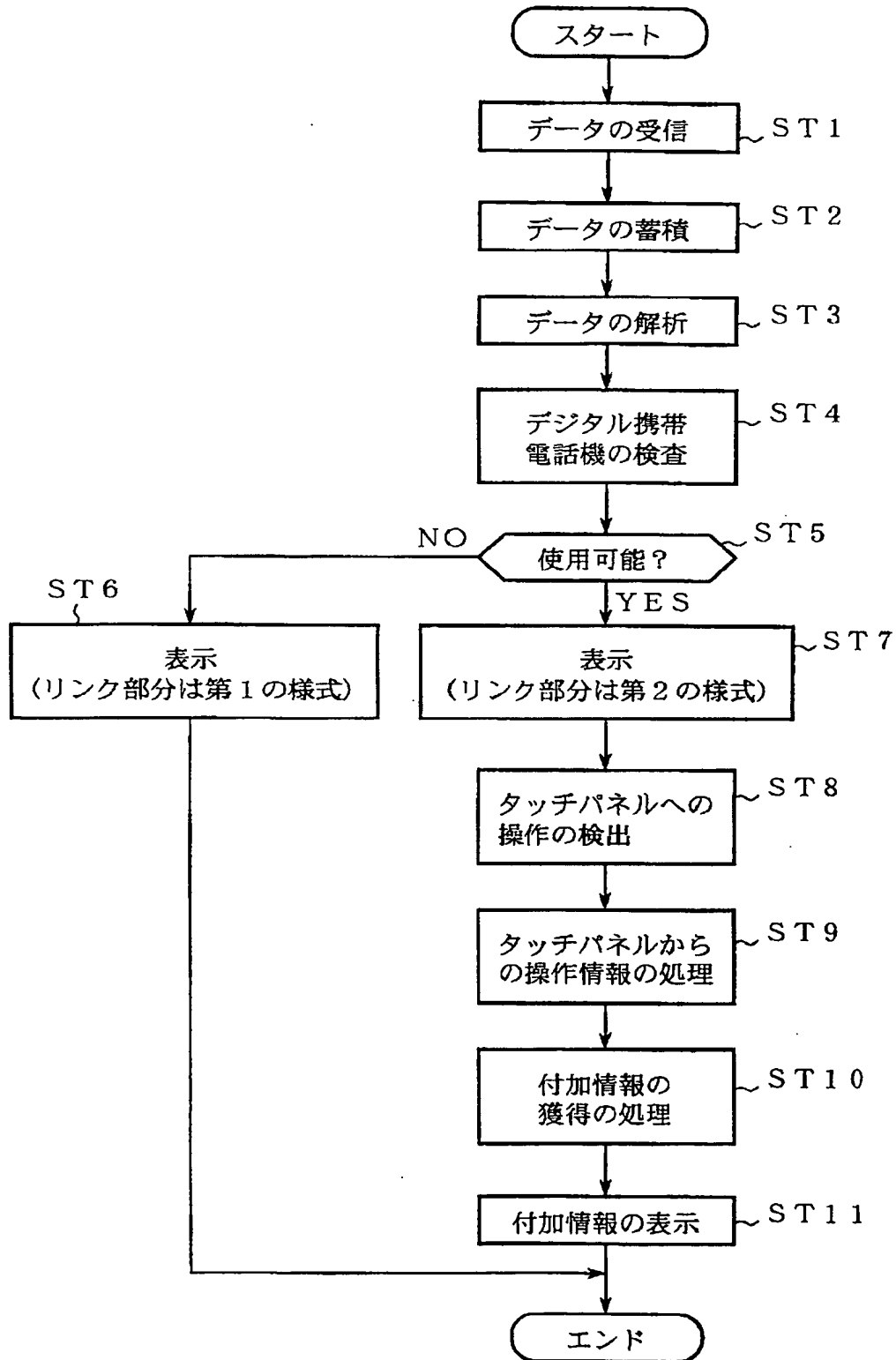
【図2】

第2図



【図3】

第3図



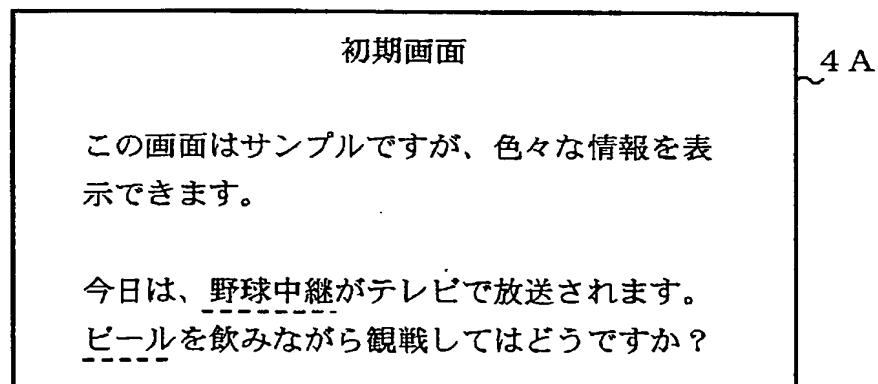
【図4】

第4図

```
<html>
<head>
<title> 初期画面 </title>
</head>
<body>
<center> <p> <H3> 初期画面 </H3> </p> </center>
<p> </p>
<p> </p>
<p> この画面はサンプルですが、色々な情報を表示できます。 </p>
<p> </p>
<p> 今日は、 <a href="http://www.xxx.xxx/aaa/yakyuu.html"> 野球中継 </a>
がテレビで放送されます。 <a href="http://www.xxx.xxx/aaa/beer.html">
ビール </a> を飲みながら観戦してはどうですか？ </p>
</body>
</html>
```

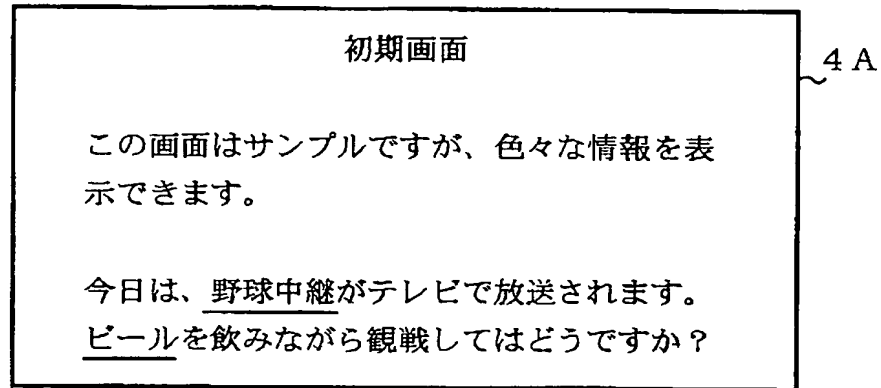
【図5】

第5図



【図6】

第6図



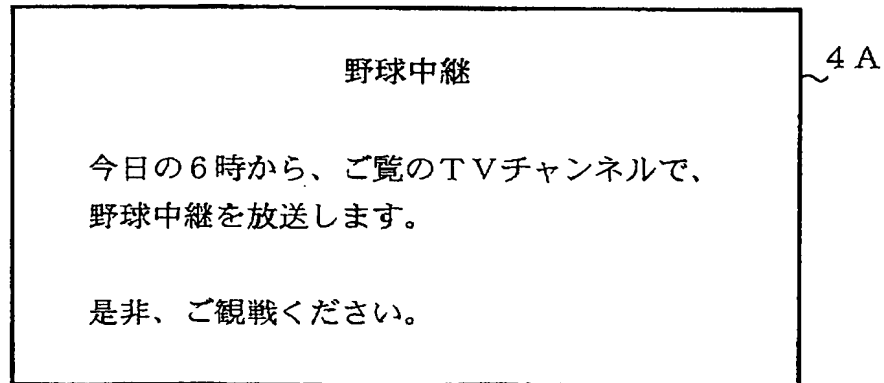
【図7】

第7図

```
<html>
<head>
<title> 野球中継 </title>
</head>
<body>
<center> <p> <H3> 野球中継 </h3> </p> </center>
<p> </p>
<p> 今日の6時から、ご覧のTVチャンネルで、野球中継を放送します。 </p>
<p> 是非、ご観戦ください。 </p>
</body>
</html>
```

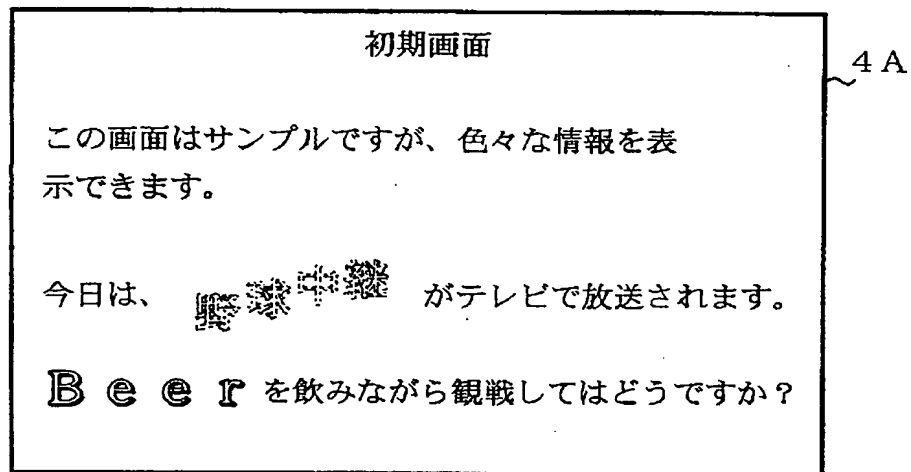
【図8】

第8図



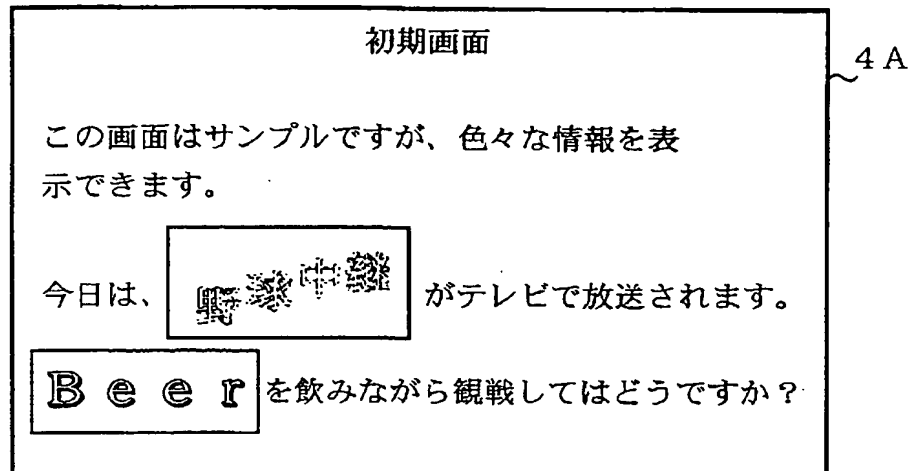
【図9】

第9図



【図10】

第10図



【国際調査報告】

国際調査報告		国際出願番号 PCT/JP98/03900
A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int. Cl. ⁸ G06F13/00, H04N7/173, H04L12/58, H04H1/00, G06F3/00		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC)) Int. Cl. ⁸ G06F13/00, H04N7/173, H04L12/58, H04H1/00, G06F3/00		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1926年-1998年 日本国公開実用新案公報 1971年-1998年		
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリ*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP, 09-162818, A (ソニー株式会社), 20. 6月. 1998 (20. 06. 98) (ファミリーなし)	1-5
Y	JP, 10-171705, A (シャープ株式会社), 26. 6月. 1998 (26. 06. 98) (ファミリーなし)	1-5
Y	JP, 10-116220, A (インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション), 6. 5月. 1998 (06. 05. 98) (ファミリーなし)	1-5
Y	JP, 09-259025, A (日本電算機株式会社), 3. 10月. 1997 (03. 10. 97) (ファミリーなし)	1, 2, 4, 5
Y	JP, 10-126334, A (インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション), 15. 5月. 1998 (15. 05. 98) &GB, 2315199, A	3
<input type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリ 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技术水準を示すもの 「E」 先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に関する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 18. 11. 98		国際調査報告の発送日 01.12.98
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官 (権限のある職員) 菅原 浩二 電話番号 03-3581-1101 内線 3522

(注) この公表は、国際事務局（W I P O）により国際公開された公報を基に作成したものである。

なおこの公表に係る日本語特許出願（日本語実用新案登録出願）の国際公開の効果は、特許法第 1 8 4 条の 1 0 第 1 項（実用新案法第 4 8 条の 1 3 第 2 項）により生ずるものであり、本掲載とは関係ありません。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.